

## No.1961

5月9日例会 プログラム 「創立40周年記念式典打ち合わせ」 実行委員長 藤田尚徳君

5月16日例会 プログラム 「アンチエイジング・足腰の衰えを妨げ」 大西病院 整形外科 安田金蔵先生

5月9日のメニュー ・スモークサーモンサラダ・フライドチキンサラダ仕立て・アジのマリネ・サイコロステーキ・フルーツ・ご飯・お味噌汁・コーヒー

## 前回(4月25日)例会記録

出席報告	会員総数	36名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	22名	欠席者数	12名	出席率	64.71%	前回補正率	82.35%
	前回補正者	東川君 三宅(照)君 仲田君 島田君								
	欠席者	緋田君 藤田君 藤原君 花岡君 東川君 井上君 三宅(孝)君 仲田君 中山君 大久保君 島田君 山田(次)君								

来訪者 東森 二三子様(NPO法人ミントハウス代表)、稲荷 作様

### 会長挨拶

本日4月25日は、世界マラリアデーという事です。今までは、アフリカ・マラリアデーと言われていたそうですが、地球温暖化により、蚊がだんだん北に上がって来て、アフリカに止まらないという理由で世界マラリアデーが今年から出来たそうです。ポリオの話になりますが、世界ポリオ撲滅運動推進計画(GPEI)は、今年3月25日にアフリカ東部の国ソマリアで、この1年間ポリオの症状が報告されていない事を発表しました。ソマリアは、暴力、貧困、基本的な公共施設の不備を乗り越えての成果です。ソマリアでは2002年に一度ポリオが撲滅されたと発表されましたが、2005年にナイジェリアで発生したポリオが飛び火して再び発生してしまいました。それを受けて、5歳以下の子供達に短期間で径口ポリオワクチンを投与した結果、最も危険な国の一つとされたソマリアでのこの結果は、たとえどんなに厳しく困難な環境であってもポリオの撲滅は可能である事を証明しました。ポリオ常在4カ国のうち、アフガニスタン、パキスタンでも徐々に成果が見られています。ポリオ撲滅の日が遠くは無いようです。

### 会長報告

- ・本日、玉野RC40周年記念実行委員会の打ち合わせ会を行いますので、例会終了後に担当の方はお残り下さい。

### 幹事報告

- ・緋田次期会長をはじめ出席義務者7名全員が4/20(日)に開催された『地区協議会』に出席して参りました。
- ・鳥居ガバナーエレクト事務所より『地区協議会』のお礼状が届いております。
- ・次期地区代表幹事より『地区協議会 幹事部門』において出席記録の算出についての訂正とお詫びが届いております。
- ・4/27日(日)に会長・幹事で『牛窓ロータリークラブ創立20周年記念式典』に出席して参ります。
- ・森下ガバナー事務所よりロータリーカードについての目標達成のお礼と改めてのお願いが届いております。
- ・森下ガバナー事務所より『友』インターネット速報No.332が届いております。
- ・小西ガバナー補佐より『クラブ活動状況報告』の依頼が届いております。
- ・『玉野警察署管内暴力追放推進協議会総会』の案内が届いております。(5/26)
- ・『宇野港の桜公園・桜の並木道』の清掃作業の案内が届いておりますので皆さん出席よろしくお願い致します。  
5/11(日) 11:00から 『宇野港ゆめ市場』テント前集合
- ・5月のロータリーレート 1ドル=102円です。
- ・他クラブの週報・例会変更通知につきましては閲覧いたします。

### 委員会報告

- ・岡君：先日、お話しさせて頂きました40周年の制服ですが、本日、注文書を回させて頂きますので、注文の必要・不要をご記入下さい。採寸に関しましては、5月9日の例会後にさせて頂きます。

### スマイル・ボックス

- ・松尾会長 - 稲荷様、東森様よくいらっしゃいました。
- ・谷口幹事 - 稲荷様、東森様ようこそいらっしゃいました。

- ・ 緋田君 - 東森さん、稲荷さんようこそ。 肝心な時、欠席で申し訳ありません。
- ・ 富永君 - 三宅保昭さん、いつも花をありがとうございます。
- ・ 渡邊君 - 今年度最後の米山ランチです。ご協力ありがとうございました。 公害審査会の為、早退します。
- ・ 三宅(一)君 - 結婚記念日、日頃の早退遅刻に対し。(一冊)

**プログラム** 「NPO法人ミントハウスの活動」NPO法人ミントハウス代表 東森二三子様、稲荷 作様

### 稲荷 作様

以前、牛窓RCにおりまして、その時に同じクラブにおりました東森さんの旦那様がミントハウスを起こされました。その当時から応援させて頂いております。何時も玉野RCの方々からは、ミントハウスチャリティゴルフコンペの方に、多くのご寄附を頂いております。その担当者が本来そのお礼を言いに来る予定でしたが、都合がつかず私が参りました。ミントハウスはNPO法人を取得致しまして、「子育て支援」を行っております。その代表が、東森二三子さんです。ご寄附だけ頂いてどういう活動をしているのかを本日は、東森さんにご説明して頂きます。私は、ご寄付に対してのお礼をさせていただきます。今後ともご支援の程、宜しくお願い致します。



### 東森 二三子様

ミントハウスに付きまして、色々ご支援頂きまして本当にありがとうございます。私がミントハウスを立ち上げようと思ったのは、やはり青少年の問題や色々な問題が沢山ある中で、母親が孤独になったり、悩んだりしている場面に遭遇した時、24時間いつでも駆け込める場所があって、本音で話が出来ると、そういうところを作りたいと思い、平成10年に立ち上げました。山陽新聞に9回連載されて岡山県内でも、皆さんに知って頂けるようにもなりました。しかし、この10年間で訪れて頂ける母親、家族像が段々と変わって来て、本当に良くしようと始めた会なのに、世の中一つも良くならなくて、自殺も硫化水素でしたり、ネットの書き込みをしたりと、世の中はあまり良くなってきてはいないのでしょうか。私の手で産声をあげた赤ちゃんや誕生を喜んだ家族であり母親であるものが、本当に一生を通して生まれてよかった、生んでよかったと思って貰える様な世の中が作れたらと思って活動しております。



内容はパンフレットにございますが、ミントの会(子育て交流会)、タイムの会(不登校の会)、ヤローの会(父親にも子育てに参加してもらおう為)、出張ミント会、個人別相談、24時間電話相談などを行っております。その中で一年に一度、ミントハウスのお祭りをいたします。それも田舎の事ですから青竹を使っての子供達に「そうめん流し」をしたりしております。子供達は何時までも覚えていてくれますので毎年しております。その為の補助金集めもいろいろと行きました。そうしたら、補助金にも制約があると聞きし、50万円の予算を申請しますと、例えば25万円助成して頂けるそうです。しかし、それには色々な制約を加えられます。そこで、ミントハウスとしては25万円でやりたい事をやれば良いと補助金を貰うのをやめました。それを見ていらしたのが、本日ご支援のお礼を言いに来る予定だった、東児ヶ丘GCの神田副支配人です。彼が言うには「自分達の自腹を切っていると、この会は何時までも続かないから、チャリティコンペをしたらどうか」という提案を頂き、10月に第1回のお世話会を10人の方で開き、早速、その年の12月25日に第1回目を計画いたしました。しかし、1回目の計画はあいにくの雪で流れましたが、その後は今回の7回を数えるまで行って頂いております。1年に3回行いまして、1回の参加人数は約100名の方々に参加して頂いております。そして、1年間のお祭りに必要な40万円を寄付して頂いております。前は、お祭りに参加をする時にお金を頂いておりましたが、このご寄付で参加者からはお金を貰わなくていい事になり、精一杯の事をして思い出を作ってもらってお祭りをしております。お祭りは、約250名の参加者になっております。皆様方から頂いた暖かいご寄付も使わせて頂いております。

現在、私も色々な場所に講演に行かせて頂いておりますが、数人の女子学生の講演の聴き方に対して疑問を持ちます。この子供達が大きくなって母親になったらどういう親になり、どういう「しつけ」を自分の子供達にしていくのか。学校側もこの子供達は根が深いので、学校側も関係ないのだと言われました。教育力も落ちたと思います。それが、現状です。改善するには、私は父親の育児休暇を増やすより、子供達と一緒にいる夕食の時間や、お風呂の時間を増やす事、義務教育までは父親と一緒にいてあげて欲しいと思います。変わったのは、子供ではなく社会、大人、親であると思います。母親には、延長保育などを使うより、せめて3歳まで一緒にゆっくりいてあげて欲しいと思います。愛情を注がれた子供は、少なくとも自殺をせず、人を傷つけない子になると信じております。マザーテレサが「母親が自分の子供を殺す社会に、戦争をやめる事は出来ない」と言いました。皆さんにお願いするのは、「悪役になろう」「抱きしめる」です。これからも皆さんに恥じないようミントハウスの活動を続けて行きますので、ご支援宜しくお願い致します。